

わだい



実際にIH調理器で料理する参加者

IH調理器の上手な使い方教えます

九電ホームアドバイザーによるIH料理教室

九州電力大津営業所が主催するIH調理器を使った料理教室が6月7日、農村環境改善センターで開かれました。オール電化住宅の普及拡大に伴い、同社が住民の皆さまに「ちょっと嬉しい料理体験」を伝えるため、内牧の農村環境改善センターにIH調理器を2台寄贈し今回初めて開いたもので、九電ホームアドバイザーがIH調理器の上手な使い方をレクチャーしました。

初めてIH調理器を使用する参加者は、「鍋のまわりが熱くならない」「直火じゃないので安心」などの声が聴かれました。

IH料理教室は、九電大津営業所(☎0120・986・6002)が無料で出張し開催します。

阿蘇の景観維持のために

水道週間清掃ボランティア作業

わだい



通称8m道路を清掃する水道事業関係者

熊本地震によって寸断された導水管の仮設管が布設されている農道赤水成川線(通称8m道路)で6月3日、阿蘇市管工事協同組合(大友一雄組合長)が清掃ボランティア作業を行いました。

これは、水道について市民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る『水道週間(6月1日〜7日)』に合わせて実施したもので、阿蘇の美しい農村景観の維持を目的に水道事業関係者21名が参加。阿蘇西小学校付近歩道部(延長1850m)の環境美化活動に取り組みました。

阿蘇警察署協議会からのお知らせ



[委員の皆さん] 左から神保京子さん(古神2区)、玉飼博之さん(内牧4区)、後藤吉信さん(滝水)、森本由美子さん(産山村)、山内ユリ子さん(内牧5区)

阿蘇警察署では6月1日、阿蘇警察署協議会委員として新たに就任した5名に委嘱状を交付しました。

同協議会は、警察署長の諮問機関として地域住民の生の声を警察行政に反映させ、民主的な警察運営を図ることを目的に熊本県公安委員会が委嘱するもので、これまでも委員から多くの意見・要望が出され、警察運営に反映されてきました。

阿蘇警察署では、ご意見などをもとに明るく開かれた警察運営を目指していますので、同協議会に市民の皆さまのご意見・ご要望をお寄せください。

●連絡先 阿蘇警察署総務係
☎22・5110

歌で阿蘇を元気にしたい

青木隆治復興支援ライブ

わだい

熊本地震の被災地を歌で元気づけたいと6月10日、阿蘇西小学校（阿蘇西校舎）体育館でタレントの青木隆治氏による復興支援ライブが開かれました。

青木氏は東日本大震災以降毎年被災地を慰問しており、今回は本人が阿蘇への慰問を希望。青木氏のファンクラブと阿蘇市災害ボランティア連絡会議（中坊真代表）の共催で復興支援ライブが実現しました。

ライブでは、美空ひばりなど多くのものまねが披露されると、歓声が湧き上がりました。

青木氏からは、「芸能人も含め被災地を応援する人は大勢いる。みんなは一人ではない」とメッセージを頂きました。



青木氏と来場者たち

News



内牧中央線で花の苗を植栽する参加者

訪れる人へのおもてなしに

市道内牧中央線花の植栽活動

内牧温泉街の景観形成と地域住民の環境意識の向上を目的に、阿蘇中央高校の生徒たちと阿蘇市区長会内牧支部（小島良邦代表）や地元の高齢者会、婦人会など関係者が6月16日、市道内牧中央線沿線の花壇に花の植栽を行いました。

阿蘇中央高校の桑原歩先生の指導のもと、参加者約40人は同校で栽培したタチアオイ・ヒマワリ・コリウスの苗3種類を植栽しました。

今回植栽した花々は夏休みシーズンに開花する品種を選定しており、7月下旬～9月までが見頃となる予定です。

旧坂梨小学校で研究再開

京都大火山研究センター仮研究棟披露式

News

熊本地震で被災した京都大学火山研究センターの仮研究施設が旧坂梨小学校に移設され6月12日、関係者に公開されました。

南阿蘇村河陽にあった京都大学火山研究センターは、熊本地震によって施設が使用できなくなったため、事務機能を大津町に、研究機能を阿蘇市の旧役大原小学校に移し一部の業務を行うことができましたが、今年4月中旬に旧坂梨小学校を仮研究棟として業務を再開しました。

研究用に改修された旧坂梨小学校では、教室だった場所が研究室や事務室として利用されており、地震前と同様に火山の観測や研究が行われています。



披露式の様子



わだい

『蛭丸』を奉納した刀匠の福留氏(左)と興梶氏(右)

大勢のファンに見守られ

名刀『蛭丸』阿蘇神社へ奉納

戦後の混乱で行方不明になり、昨年2月から復元に着手していた阿蘇神社の名刀『蛭丸』の奉納式が6月17日、同神社の仮拝殿で執り行われました。

式では、クラウドファンディングによって投資を募り、『蛭丸』の復元を行った刀匠2名が刀を奉納。全国各地から集まった多くの刀剣ファン達が奉納を見守りました。

奉納した刀匠の福留裕晃氏(岐阜県関市)と興梶宏明氏(大分県竹田市)は、「蛭丸はみんなから好かれた刀と聞いている。本刃と同じように好かれ、歴史を刻んでほしい。」と思いを述べました。

熊本方面へのアクセス復旧に期待

二重峠トンネル着工式

News



二重峠トンネル着工を祝う関係者ら

熊本地震で崩落した国道57号の代替ルートである北側復旧ルート二重峠トンネルの着工式が6月17日、掘削工事の起点となる車庫地区で執り行われました。

北側復旧ルートは、阿蘇市赤水と大津町引水を結ぶ全長約13kmを国土交通省が直轄で工事しており、現在約8割の用地買収が終了。平成32年度中の開通を予定しています。

二重峠トンネルは同ルートのうち3.7km

の区間で、車が通る幅約14mの本坑と、緊急時に利用者が避難することができ幅約7mの避難抗の2本のトンネルが並行して掘削されます。

着工式で挨拶をした佐藤市長からは、「未来につながる道路として、停滞した物流と冷え込んだ基幹産業に風穴を開け、復興のシンボルとして無事竣工することを期待する。」と話がありました。

五岳を望む聖地

あそ宮地墓地

募集区画 5mより各種 全区画平地

☆ご連絡くださいご案内・ご説明いたします。 販売・・・有限会社石翔

阿蘇市一の宮町宮地4699 一の宮総合運動公園通り

電話 (0967) 22-6099

お気軽にお問い合わせ下さい。